

女性応援プロジェクト ～がんばれ県北地区の女性たち～

教育・研究 ボランティア 地域交流

〔代表者〕 工学部 4年 滝沢 惟

連携先

日立市らぼーる協会、cafe 結+1、茨城キリスト教大学、中島美那子(茨城キリスト教大学講師)、矢部美和子(日立市子育てメンバー)、樫村自子(保育士)、株式会社 日立エンジニアリング・アンド・サービス、NPO 法人 おいも JOPOT、めいくティック、ひたちの国・志塾、河野義広

顧問教員

米倉 達広 (工学部 教授)

参加者

滝沢 惟 (工学部 4年)

高橋 綾香 (工学部 4年)

堀越 朋世 (工学部 4年)

相川 とも美 (工学部 4年)

石井 智佳 (工学部 4年)

岸本 善斗 (工学部 4年)

佐伯 辰大 (工学部 4年)

須藤 恵 (工学部 4年)

原部 香織 (工学部 4年)

六條 真琴 (工学部 4年)

川浪 太郎
(大学院理工学研究科 2年)

和田 宰
(大学院理工学研究科 2年)

伊藤 慎吾
(大学院理工学研究科 1年)

小林 勇作
(大学院理工学研究科 1年)

仁木 雄介
(大学院理工学研究科 1年)

辻 和孝
(大学院理工学研究科 1年)

古屋 亮
(大学院理工学研究科 1年)

周 超
(大学院理工学研究科 1年)

張 立業
(大学院理工学研究科 1年)

龔 彪 (工学部 研究生)

大部 由香
(産学官連携イノベーション
創成機構 研究員)

プロジェクトの申請内容

◆プロジェクトの概要

[目的] 県北地区の地域活性化

[目標]

- ・日立市女性センターにおいて
パソコン講座で女性の社会進出を支援
- ・茨城キリスト教大学中島研究室と合同
で地域調査
- ・SNS おさんぽ(ママさん達を応援するソ
ーシャルネットワーキングサービス)
を活用した、対象地域に住む母親ネッ
トワーキング力の向上

4月、常陸太田市在住の女性達が立ち上げた地域密着型カフェ cafe 結+1 を訪問し、

コミュニティ間の情報交換に課題があり、地域活性化が促進され難いと伺った。そこで、地域のネットワークづくりと女性の諸問題（子育て、再就職）の解決のため、コミュニティサイトによるフラットな情報交換を提案した。このようなサイトの利用促進のため、パソコン（PC）講習会を開催する予定である。5月、日立市らぼーる協会を訪問し、PC技能の不足を理由に女性の再就職が困難であると伺った。そのため同協会では、PC講座が開講予定であるが、PCの不足が課題であった。そこで、連携先団体から廃棄処分予定のPCを提供いただき、計10台を寄贈した。今後、本プロジェクトメンバーが講師として携わる。秋には女性メンバーを中心に、母子家庭やDV被害を受けた女性を対象にした「経済的に困難な女性のためのパソコン講座」を支援する。

これらの活動を通じ、様々な環境下にある女性の声を収集し、地域の現状調査を行う。その他、地域イベントへの参加、地域SNS「おさんぽ」の活用、就活メイク講座・女性対象のリフレッシュ講座・地域有名人による講演会の開催を計画している。以上の活動を通じ、地域の女性を総合的に支援し、地域活性化につなげる。

本プロジェクト推進のため、定期的に各連携先との会議を行い、日立を中心とした地域ネットワークづくりについて検討する。

◆期待される成果

日立を中心とした県北地域の女性が美しくなり、生きがいを持つことができるようになる。女性の活性化は元気な街づくりにつながる。本プロジェクトにおけるイベント等の活動を今後も継続的に行うことで県

北地区の長期的な活性化が見込まれる。また、本プロジェクト活動を活発に行う事で、周辺の地域からの注目を集めることができ、活動範囲の拡大に合わせて周辺地域への連鎖的な活性化が期待できる。

プロジェクトの実施概要

日立市を中心とした茨城県北地区では、工業都市という性格上、女性の活躍する場が少ないため女性のネットワーキング力が弱く、女性を取り巻く環境が充実していない。具体的には、出産や育児、育児後の社会復帰への不安を抱える女性のための交流や情報交換の場が不足しており、地域に密着した情報が得られにくいという状況にある。そこで、茨城県北地区の女性たちへ 1) 人脈づくり、2) 子育て、3) 再就職に対する支援を行い、「女性のネットワーク力」を向上させることで、女性による地域活性化を図る。

▼主な活動内容

① 地域の現状調査	対象地域の女性の諸問題（ネットワーク、子育て、再就職）に関する調査
② 地域SNS「おさんぽ」の活用	フラットなネットワーク作りのための地域SNS
③ パソコン講座	インターネットの利用促進
④ SNS講座	地域SNSのようなコミュニティサイトの利用促進
⑤ 地域イベント参加	既存の地域イベントへの参加による現状調査とPR
⑥ 地域イベント企画	地域イベント「女性応援フェア」を企画し交流の場を提供

本プロジェクト推進のため、定期的に各連携先との会議を行い、日立を中心とした地域ネットワークづくりについて検討する。

プロジェクトの成果報告

県北地区の地域活性化を目標とし、様々な活動やイベントを通し、1)人脈づくり 2)子育て支援 3)再就職支援を柱に女性応援の活動を行ってきた。

● 実施内容

月	内容
4月	・cafe 結+1 の訪問
5月	・日立市らぼーる協会へ訪問 ・日立市らぼーる協会へパソコン10台寄付
6月	・「訪問介護員養成研修受講生対象パソコン入門講座事前研修」の講師(全2回) ・地域イベント「キャンドルナイト」へボランティア参加 ・らぼーる協会 HP 作成着手
7月	・「訪問介護員養成研修受講生対象パソコン入門講座」のサポート(全5回) ・「Face to face の会」での発表
8月	・「SNS 講座」実施(1月末まで全10回)
9月	
10月	・「ひたちものづくりサロン情報関係研究会」での発表 ・「女性センター祭り」へ参加 ・「女性応援フェア：ビューティーサロン」の開催
11月	・「日立市総合計画策定グループインタビュー」参加

	・「女性応援フェア：リフレッシュ講座」の開催
12月	・「女性応援フェア：就活メイク講座」の開催
1月	
2月	・各連携先への報告会(予定)
3月	・らぼーる協会 HP 作成引き継ぎ準備(予定)

● 人脈づくり

女性応援地域 SNS「おさんぽ」を誰でも簡単に参加できるフラットな情報交換の場として活用した。加えて地域の現状調査と SNS の PR のため、地域イベントへ参加した。既存の地域イベントにボランティアスタッフとして参加することで他団体とも交流でき、活動の幅が広がった。これにより、茨城県北地区の女性が抱える課題が明確になったとともに、地域 SNS「おさんぽ」を活用した情報交換の方法を広めることができた。さらに、地域密着型カフェ cafe 結+1 と連携した SNS 講座を行った。SNS 活用の基礎から講習を行うことで、地域で暮らす女性が SNS を活用した人脈づくりの方法や人的ネットワークの維持を実践できるようになった。



SNS 講座の様子

●子育て支援

子育て支援では、日立市らぼーる協会と共催し「親子で一緒にリフレッシュ講座」を開催した。対象地域に住む母親2名を講師として招き、バランスボールを使ったリフレッシュ運動や、ママさんネットワークを強める脳トレワークなどを行った。これにより、子育てママの交流の場を提供し、ママの声を直接伺うことができた。このイベントの反響は大きく、特に0～2歳児の講座では申し込み受付開始20分で定員を満たしてしまうほどの需要があった。このことから、茨城県北地区に居住する子育てママが、交流を求めていること、子供の遊び場、リフレッシュの場を求めていることが明らかとなり、今後の活動に大いに役立つ情報を得ることができた。

●再就職支援

再就職支援では、日立市らぼーる協会が開講するパソコン講座に講師として参加し、マウスの使い方から始まり、WordやExcelの使い方までレクチャーした。「学生さんたちに教えてもらって嬉しい」、「何度も何度も丁寧に教えてもらえた」との声もあり、スキルアップ支援を行えたのと同時に工学部生と地域住民との交流もできた。

さらに、情報交換とスキルアップを目的とした「ビューティーサロン」「就活メイク講座」を開催した。大手化粧品メーカーから多大なる支援をいただき、参加者からも大好評なイベントとなれた。さらに「工学部生」と「ビューティー」のギャップが地域の方に注目され、関心を集めることができた。

親子でいっしょに!
リフレッシュ講座

11月12日(金)
11月24日(水)

茨城大学学生地域奉仕プロジェクト
「女性応援プロジェクト」
日立市らぼーる地区の学生たち、が
お送りする地域イベント、「リフレッシュ講座」
産後の体、育児疲れリフレッシュしよう
子育ての悩みを不安し、脳トレワークを「解決」
ママさんネットワークの構築にも役立ててください

子育てママさん、見てお!!

いつ? [予約制]

0～4歳の子供もママ対象!!

11月12日(金) 9:30am～11:30am(先着50名)
11月14日(水) 9:30am～11:30am()

11月12日(金) 11:00am～12:00pm()
11月14日(水) 11:00am～12:00pm()

どこ? [予約制]

日立市女性センター(4階・401号室)

いくら? [予約制]

無料(お茶代別)

持ち物は?

参加費 無料(お茶代別)

高田共の集あし大歓迎です!!



「女性応援フェア：親子で一緒にリフレッシュ講座」の様子

● 広報

開催したイベントをきっかけに、茨城新聞の記者の方から取材依頼を受けた。プロジェクトの活動について「女性の元気を創出する」と大きく評価され、その後もいくつか記事に取り上げられた。(11月10日、12月5日、12月14日) 週刊茨城朝日へも掲載された。加えてFMひたちにラジオ出演し、プロジェクトの経過報告を行った。(6月6日、10月9日、10月17日) ボランティア参加した地域イベントの中で、ラジオを聞いていた方もおり、ラジオの効力を実感した。プロジェクトの活動が実際に紙面などで評価されることで、茨城大学学生地域参画プロジェクトの知名度を向上させることもできたと考えている。

● 参加者より

「参加するまでは緊張でドキドキでしたが、とても丁寧にわかりやすく教えていただき、為になった上、物凄く楽しかったです。素敵なイベントを行っていただき感謝します。(ビューティーサロンぺたぺたアンケートより)」
「茨大でこのような活動をしていることに驚きました。がんばってね!(ビューティーサロンぺたぺたアンケートより)」
「週一でやってほしいくらい(親子で一緒にリフレッシュ講座より)」



「女性応援フェア：就活メイク講座」の様子

●今年度得られたもの

地域を活性化するための材料を得ることができた。

- ・ イベント参加しやすい曜日と時間帯
⇒参加者に適した開催日時決定につながる
- ・ どんなイベントに興味があるか
⇒人脈づくりに効果的なイベントの検討につながる
- ・ どのような告知方法が効果的か
⇒活動の広報、知名度向上に役立つ
- ・ イベント開催の手法
⇒効率の良いイベントの進め方、役割分担に役立つ
- ・ 他プロジェクト、自治体、企業、市とのネットワーク
⇒今後の交流維持による活動の拡大

今年度得られた効果の中で特記すべき点は以下の3つである。

- ・ 地域の活動団体や企業、行政機関の方に、女性を取り巻く環境への問題意識を持っていただけたこと
- ・ 多くの情報を持つ「日立市女性センター」の存在を若い世代にも知ってもらい、活用してもらえるようになったこと
- ・ 各連携先同士のネットワークが繋がったこと

● 今後の展望

上記の活動を通じて幅広い年齢層の女性 200名以上の方々とネットワークを広げることができ、多くのことを学び、たくさんの応援を頂いた。今年度に得たネットワーク、ノウハウ、参加者データをもとにさらなる発展ができると期待している。



「女性応援フェア：就活メイク講座」の様子